

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	なみはやグラウンド管理運営事業				②事業番号	7629	
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	平成 10 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	補助・負担	○ その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	6	目	3	細目
⑨担当部名	⑩担当課名			会計			
教育部	生涯学習課			一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① なみはやグラウンド	① 施設数	施設
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
なみはやグラウンドは、流域住民の下水道事業の理解を目指し、南大阪湾岸流域下水道南部水みらいセンターの一部を緑地化し、多目的広場として設置され、大阪府から委託を受けて泉南市が管理を行いスポーツ施設として金・土・日曜日に開放していた。令和2年に泉南りんくう公園が完成されたことから公園を管理する事業者グラウンドの管理を行わせていることでこれまで貸し出しを行っていなかった日を料金を徴収して貸し出すことを可能として維持管理を行っている。	① なみはやグラウンド委託件数	件
	② なみはやグラウンド利用可能日	日
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
グラウンドを適切に管理することによって、良好な状態を保つことで、利用者に開放し、施設利用者のスポーツの場を提供する。	① 施設利用者数	人
	② 修繕箇所数	箇所
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
安全・安心に利用してもらえるスポーツレクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図る。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	2 生涯学習内容の充実
	施策小	4 スポーツの推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	施設数	施設	1	1	1	1	1	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	なみはやグラウンド委託件数	件	3	3	0	0	0	
活動指標②	なみはやグラウンド利用可能日	日	143	141	324	280	280	R2年度から管理主体が変更されたため。
活動指標③								
成果指標①	施設利用者数	人	26,190	21,620	14,212	28,000	28,000	
成果指標②	修繕箇所数	箇所	5	1	3	—	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.24	0.39	0.30	0.10		
	任期付職員	人	0.03	0.00	0.00	0.20		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費(投入人員×単価)	千円	2,044	3,008	2,290	1,365		R2年度はから管理主体変更による歳入歳出減。
	直接事業費	千円	9,715	8,690	596	1,000		
	総事業費	千円	11,759	11,698	2,886	2,365		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		R2年度はから管理主体変更による歳入歳出減。
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	8,737	10,123	0	0		
	一般財源	千円	3,022	1,575	2,886	2,365		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	当グラウンドは大阪府の下水道施設内にある施設であるが、地域還元という趣旨で、スポーツ施設として、利用者に利用してもらおうとするものである。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	現在まで引き続き、泉南市のスポーツ施設としての役割を果たし、利用者の体力の増進・健康維持向上に貢献する。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)				[1]の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等			
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)		ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	良好な条件のグラウンドを無料で開放しているので、利用者には好評である。		

[2]有効性				[2]の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。		ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	利用希望者が多く、成果は得られている。		
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)		ア. ある イ. ない	良好な条件のグラウンドを無料で開放しているので、これ以上余地はない。		
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。		ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—		

[3]効率性				[3]の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)		ア. ある イ. ない	支出は最小限である。		

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	スポーツと地域資源を掛け合わせたまちづくり・地域活性化につながる。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>					
ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)				
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など			—		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策			—		